

ヤングケアラー実態調査結果の概要

(県、町分の比較)

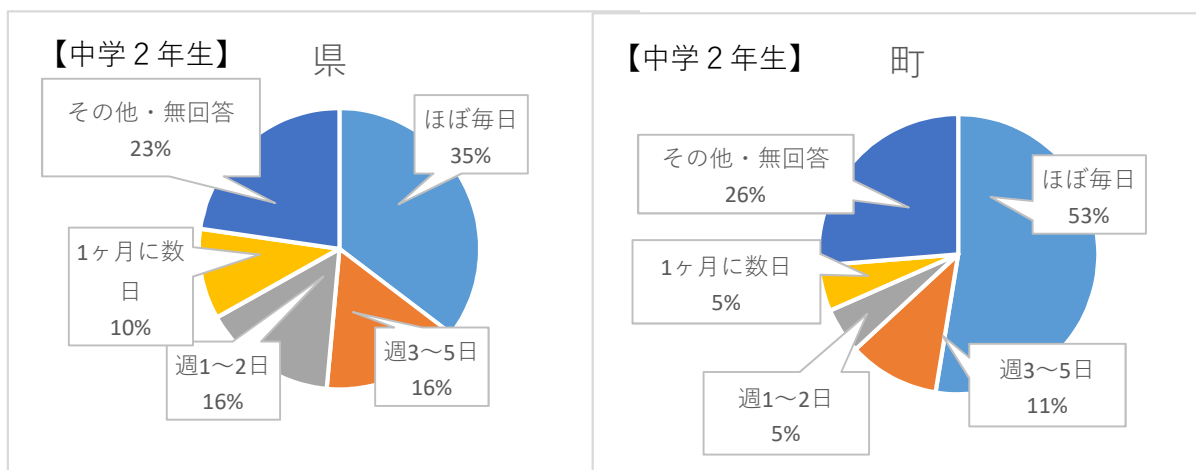
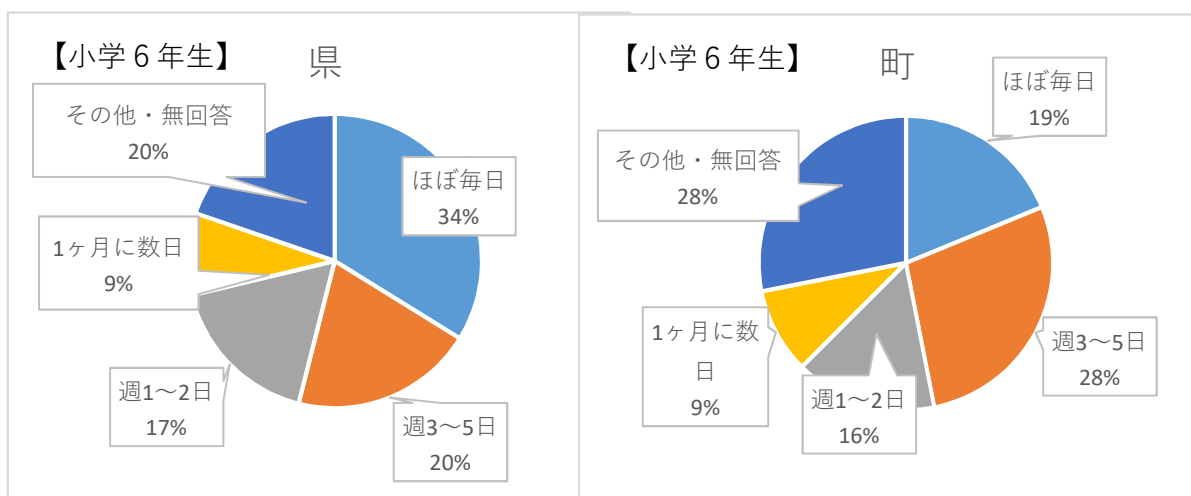
ヤングケアラーの実態について把握し、ヤングケアラー及びその家族への支援体制を構築していくための基礎資料とするとともにヤングケアラーに関する社会的認知度の向上及び理解促進を図ることを目的としています。

※調査回答数 県40,854人（小学6年生14,621人 中学2年生13,618人、高校2年生12,615人）
町675人（小学6年生254人、中学2年生210人、高校2年生211人）

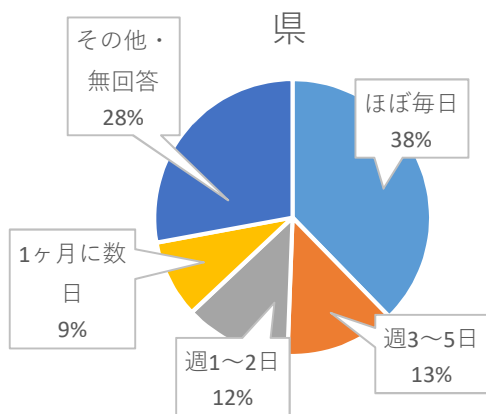
①お世話をしている家族がいる

	小学6年生	中学2年生	高校2年生
県	12%	8.2%	5.1%
町	12.6%	9%	3.8%

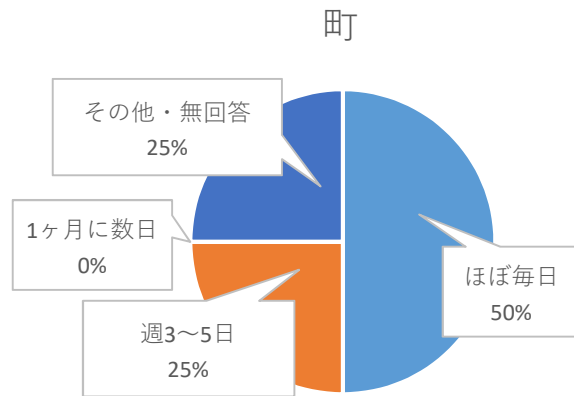
②お世話をしている頻度



【高校2年生（全日制）】



【高校2年生（全日制）】



③お世話に費やす時間（最も多かった回答）

	小学6年生	中学2年生	高校2年生
県	1～2時間未満	3～4時間未満	
町	1～3時間未満	7時間以上	1～2時間未満

④お世話を必要としている家族

県 小中高校生ともに「きょうだい」の割合が多く、次いで「母親」

町 小中学生は「きょうだい」 高校生は「母親」「祖父」の割合が最も高い

⑤お世話について相談した経験がある児童・生徒

学年	県	町
小学6年生	23.9%	18.8%
中学2年生	18.9%	21.1%
高校2年生	17.4%	12.5%

⑥相談相手

県 小中高校生ともに「家族」「友達」「学校の先生」が上位

町 小中学生は「家族」「友達」、高校生は「家族」が上位

⑦ヤングケアラーの自覚

家族のお世話をしている人で、自分がヤングケアラーに「あてはまる」と回答した生徒

県-21.2%
町-22.2%